

二次性副甲状腺機能亢進症 (SHPT) を合併する骨粗鬆症の透析患者に対するデノスマブ投与の影響

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック

○田口尚人 田中健 林田征俊 矢野利幸 高木伴幸 澤瀬健次 橋口純一郎 原田孝司 船越 哲

【目的】

SHPT を合併する透析患者におけるデノスマブ投与が骨代謝マーカーおよび FGF23 に与える影響を検討する。

【対象・方法】

骨密度 YAM 値 70% 以下の維持透析患者 16 名に対しデノスマブ 60mg を投与し、投与前と投与 4 週後、投与 24 週後の骨代謝マーカーおよび FGF23 の推移を比較検討する。尚、Ca の補正に沈降炭酸カルシウムとビタミン D 製剤を併用した。

【結果】

TRACP-5b、BAP、血清 NTX は投与後 4 週から 24 週まで有意に低下した。P1NP は 4 週後有意な低下が認められたものの 24 週には投与前との差はみられなかった。FGF23 は 4 週後有意に低下し、24 週まで低値を維持していた。

【考察】

SHPT を合併する透析患者に対するデノスマブ投与にて、骨回転抑制により骨密度低下を予防し、FGF23 産生にも寄与する可能性が示唆された。今後は長期的な観察が必要と思われる。